

新潟県立国際情報高等学校 後援会設立趣意書

皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平成四年四月に開校した本校も、おかげさまをもちまして平成二十八年四月に創立二十五周年を迎えました。

これまで、在校生への支援としては現役保護者による育成会費、卒業生保護者による賛助会費を有効に利用させていただき、充実した教育を行ってことができました。

しかしながら、今後の教育改革を見据え、ICT機器の整備や学習環境の充実、新しい大学入試制度に対応するための研修等を行っていくためには、これまで以上に継続的な支援が可能となる後援会組織が必要となってきます。

そこで、四半世紀という節目の年に当たり、後援会設立準備委員会では、よりよい教育環境を整え、生徒の夢の実現をサポートし、個性を伸ばすとともに、KJが未来を担う人材を育成する学校でありつづけるためにも、後援会設立に向け、準備を進めて参りました。つきましては、後援会発足を経たのち、後援会費を御寄付いただき、左記の事業への補助ならびに後援会活動資金とさせていただきます。皆様方からの御理解と御協力をよりしくお願い申し上げます。

なお、現役保護者の方々から御協力をいただいている育成会費は引き続き存続し、これまでの賛助会費が後援会費へと引き継がれます。また、育成会報は来年度から後援会報となります。

記

一、新潟県立国際情報高等学校後援会 設立基金 予算 五〇〇万円

寄付 一口千円 三口以上

(後援会発足後、振り込み用紙をお送りし、改めて御依頼いたします。)

後援会事業(案)

- 一、教育環境の整備・拡充
- 一、グローバル人材育成のための補助
- 一、国際情報高等学校の情報発信拠点の整備
- 一、後援会報の発行
- 一、その他

平成二十八年七月吉日

新潟県立国際情報高等学校

後援会設立専門委員長

関 常幸

後援会準備委員長(育成会長)

清塚善夫

校長

玉木正己